

「食文化」学習指導案

広島県立加計高等学校  
教諭 浜田 実香

本学習指導案のポイント（ 高校教育指導課 指導主事 中村 蒼子 ）

- 世界の食文化について、歴史やグローバル化に伴う変化と関連付けて考えるという目標に向けて、生徒が様々なアプローチから課題をもって調査し、共有することで思考を深める学習となっていた。
- 自ら調査した成果を発表して他者と共有し、他者からの気づきを得る場面では、視点をもって考察する仕組みとなっており、このことが、生徒の食に関する理解を深めたり思考を深めたりすることに有効であった。

- 1 実施日：令和5年11月22日（水）5限：13時40分～14時30分（50分）
- 2 学年・学級：第3学年（7名）
- 3 単元名：世界の食文化
- 4 題材について

(1) 題材観

本題材は、高等学校学習指導要領「食文化」における(3)「世界の食文化」ア「世界の料理の特徴と文化」イ「食生活の国際化」を踏まえて設定したものである。世界の食文化について主な食文化圏とその料理の特徴や食のグローバル化による食生活の変容について理解させ、関連する知識と技術を身に付けさせるとともに、歴史と食文化圏のかかわりやグローバル化の進展に伴う食文化の変化について課題を発見し、その解決に向けて考察させることを目標としている。

(2) 生徒観

このクラスの生徒たちは、様々な活動に意欲的に取り組むことができ、積極的に発言する生徒も多く、明るく個性豊かである。グループワークにおいても、活気ある意見交換を行うことができ、食に関心を持ち意欲的に学ぼうとする雰囲気がある。

本校は、3校の姉妹校間の交流に加え、複数の外国籍の生徒が在籍し、多くの外国からの訪問者もあるなど活発な国際交流が行われており、外国の方と交流する機会が非常に多い。これまで授業の中で姉妹校からの留学生とともに料理をし、ともに食事をする機会をもっている。そのため、生徒たちには、世界の食文化についても比較的身近に感じながら、興味・関心をもっていることがうかがえるが、その歴史やグローバル化に伴う変化と関連付けて考えることまではできていない。

(3) 指導観

食事は気候や人々の暮らし、歴史、宗教などに大きく影響されている。世界の食文化を学ぶことで、異なる文化や価値観を持つ人々に対する理解や尊重を深め、食を通して人々の暮らしや思いを知り、多様性を認める姿勢やグローバルな視野を広げることができる。と考える。

各国の食文化を比較するなかで、ジクソー法を取り入れたグループワークを行い、料理と地域の特徴や歴史とのかかわりについて理解を深められるようにしたい。調べたり考察したことを発表し、その他の国の食文化や料理についてクラスメートと意見交換することで、グローバル化の進展に伴う食文化の変化の課題の解決について考察させたい。

5 題材の目標

世界の食文化について主な食文化圏とその料理の特徴や食のグローバル化による食生活の変容について理解させ、関連する技術を身に付けさせるとともに、歴史と食文化圏のかかわりやグローバル化の進展に伴う料理や食文化の変化について課題を発見し、その解決に向けて考察する。

6 題材の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
世界の食文化について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	歴史と食文化圏のかかわりやグローバル化の進展に伴う料理や食文化の変化について課題を発見し、その解決に向けて考察し表現している。	世界の食文化に関する情報を収集・整理することができる。	世界の食文化について主な食文化圏とその料理の特徴や食のグローバル化による食生活の変容について理解している。

7 指導と評価の計画（全8時間）

次	学習内容（時数）	評価				評価方法
		関	思	技	知	
1	世界の料理の特徴と文化（1）	○			◎	ワークシート
2	各国の料理と地域の特徴・歴史（4）	○	◎			観察

3	調理実習 (2)		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史と食文化圏のかかわりやグローバル化の進展に伴う料理や食文化の変化について表現している。</li> <li>・世界の食文化に関する情報を収集・整理することができる。</li> </ul>	ワークシート 観察
4	食文化の伝承と創造 (2) 本時 (2/2)		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史と食文化圏のかかわりやグローバル化の進展に伴う料理や食文化の変化について課題の解決に向けて考察し表現している。</li> <li>・世界の食文化に関する情報を収集・整理することができる。</li> </ul>	発表 ワークシート

## 8 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・歴史と食文化圏のかかわりやグローバル化の進展に伴う料理や食文化の変化について課題の解決に向けて考察し表現できる。
- ・世界の食文化に関する情報を収集・整理することができる。

### (2) 観点別評価規準

- ・歴史と食文化圏のかかわりやグローバル化の進展に伴う料理や食文化の変化について課題の解決に向けて考察し表現している。
- ・世界の食文化に関する情報を収集・整理している。

### (3) 準備物

PC、プロジェクター、評価表 (ワークシート)

### (4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
導入 5分	本時の学習内容を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の進め方の要点を伝える。</li> <li>・ワークシートを配布する</li> </ul>	
	世界の食文化について調べたことを発表し、これからの食文化の継承・創造について考えよう。		
展開 40分	<p>グループ発表をする 発表に対する質疑応答 発表を終えての気づきをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表した側、聞いた側両方の気づきをジャムボードの付箋に書く。</li> </ul> <p>意見交換する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他グループの発表について、グループで意見を出し合う。</li> </ul> <p>・グループで気づきをまとめ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他グループの気づきを聞いて、これからの食文化の継承・創造について感じたこと、気づいたことをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が発表に携わるよう指導する。</li> </ul> <p>3グループ (各2~3人)、各10分程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導し、気づきがうまくまとめられない生徒には、個別にヒントを与えるなどして引き出させる。</li> <li>・ジャムボードの付箋を分類しながら、意見交換する。</li> </ul> <p>①気候などの地域の特徴 ②歴史やいわれ ③他国との比較 ④調理した料理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的な感想を返すよう伝える。</li> <li>・生徒の意見を尊重しながら気づきを引き出させるよう適宜助言する。</li> </ul>	歴史と食文化圏のかかわりやグローバル化の進展に伴う料理や食文化の変化について課題を発見し、その解決に向けて考察し表現している。 (思考・判断・表現) 世界の食文化に関する情報を収集・整理している。(技能)
終結 5分	発表・意見交換のまとめをする。	世界の食文化には多様性や共通性があり、変化していることを伝える。	

### (5) 判断基準

評価	思考・判断・表現	技能
A (十分満足できる)	歴史と食文化圏のかかわりやグローバル化の進展に伴う料理や食文化の変化について、課題の解決に向けて多様性や共通性を比較して考察し表現している。	世界の食文化に関する情報について、特徴や背景を分析し、多様性や共通性を比較して収集し整理している。
B (おおむね満足)	・歴史と食文化圏のかかわりやグローバル化の進展に伴う料理や食文化の変化について課題の解決に向けて考察し表現している。	・世界の食文化に関する情報を収集・整理している。
C (努力を要する)	・歴史と食文化圏のかかわりやグローバル化の進展に伴う料理や食文化の変化について表現している。	・世界の食文化に関する情報を収集・整理していない。